

社会基盤工学専攻「環境基盤マネジメント国際コース」ならびに
都市社会工学専攻「都市地域開発国際コース」について

京都大学は文部科学省「国際化拠点整備事業（グローバル30）」（注）に採択されました。工学研究科社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻では、英語による授業のみで学位が取得できる下記の「国際コース」を平成23年度より開講いたします。以下に本コースの概要を示します。

社会基盤工学専攻「環境基盤マネジメント国際コース」

アジア・アフリカ地域の発展途上国を含む「諸国の環境基盤問題」をマネジメントしうる人材の育成を目的とする。

都市社会工学専攻「都市地域開発国際コース」

アジア・アフリカ地域の発展途上国を含む「諸地域・諸都市の持続可能な開発を行う人材の育成を目的とする。

両国際コースの概要

- 地球環境学堂・防災研究所と協力し設置している G-COE 拠点「都市の人間安全保障工学研究・教育センター」にて開始している博士後期課程教育プログラムを発展させ、修士課程レベルにおいてこれらのコースを開設する。
- 学部で開設する「地球工学科国際コース」と合わせて学士から博士まで一貫して英語で卒業・修了することができるプログラムとし、アジアなど世界の諸地域で深刻化する都市問題に対応しマネジメントできる人材の育成を目指す。
- また、ケンブリッジ・ハノイ・ナイロビに国際開発教育センター（仮称）を設置し、教育の知見の蓄積、外国人教員の招聘、日本人教員の FD、短期留学プログラムの実施、海外インターンシップ等を行う。

本国際コースの入試方法、入試日程、カリキュラム等につきましては、詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせする予定です。

注：

「国際化拠点整備事業（グローバル30）」は、大学の機能に応じた質の高い教育の提供と、海外の学生が我が国に留学しやすい環境を提供する取組のうち、英語による授業等の実施体制の構築や、留学生受け入れに関する体制の整備、戦略的な国際連携の推進等、我が国を代表する国際化拠点の形成の取組を支援することにより、留学生と切磋琢磨する環境の中で国際的に活躍できる高度な人材を養成することを目的としています。

リンク先：

京都大学 国際化拠点整備事業（グローバル30）に採択

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h1/news7/2009/090703_3.htm

文部科学省 平成21年度国際化拠点整備事業（グローバル30）の採択拠点の決定について

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/07/1280880.htm

日本学術振興会 国際化拠点整備事業（グローバル30）

<http://www.jsps.go.jp/j-kokusaika/index.html>

日本学術振興会 平成21年度採択拠点の構想の概要（京都大学を含む）

<http://www.jsps.go.jp/j-kokusaika/data/sinsa/h21saitakugaiyo.pdf>